



## 特殊鋼のフロンティアの更なる拡大を目指して

常務取締役  
富永 真市

山陽特殊製鋼技報第21巻の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年11月、当社は創立80周年を迎えることが出来ました。これも、偏に長年にわたるお客様各位のご支援の賜物であると改めて厚く御礼申し上げます。

この3月で終了した8次中期計画におきましては、5000トン自由鍛造プレス機、60トン連続鋳造設備の新設により10万トン／月の生産体制を構築するとともに、新商品として「PremiumJ2」、「ECOMAX」、「QT41-HARMOTEX®」、鉛フリー快削ステンレス鋼「QS12E」、窒化粉末ハイス「SPM X4N」等を開発、世に送り出すことができ、お客様からも高い評価を頂くことが出来ました。

引き続き、本年4月から3年間の9次中期計画をスタートさせたところです。

9次中期では、アジアを中心に拡大する特殊鋼需要を捕捉することで更なる企業価値の増大と成長を達成し、「高信頼性鋼の山陽」の存在感を一層確固たるものにしてまいりたい所存です。

超円高は修正されたとはいえ、電力問題、高い法人税等で日本での物づくりは中国、韓国等の競合者に依然大きなハンディを負っております。取り分け、電力の高騰および供給制約は特殊鋼生産に大きな影響を与えていますが、これを一企業としてまたサプライチェーン全体として何としてでも克服するとともに、非価格競争力の更なる強化～技術先進性の追求、品質の高度化および納期競争力の確保～によりグローバル競争に打ち勝ってまいりたい所存です。

山陽特殊製鋼は80年にわたり、お客様のニーズを真正面から受け止め、お客様と連携・提案・議論・摺りあわせを行い、設計・素材・加工の一貫最適で産業社会に大きな効用をもたらす特殊鋼づくりに邁進してまいりました。

山陽特殊製鋼は、今後とも、お客様の潜在ニーズを先取りしたイノベティブ・ソリューション商品の開発により特殊鋼のフロンティアの更なる拡大に奮迅努力してまいります。一層のご指導、ご鞭撻を御願ひ申し上げます。